

宮城県農業高等学校 [全日制課程 (農業科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県農業高等学校は、「自啓 (自らの力で自らの道をひらく)」を校訓とし、3年間の教育を通して、自然を愛し、心身ともに健康でたくましい人材を育成します。また、宮城県の農業教育の中核を担う学校として、農業のキャリア教育を推進するとともに、都市近郊の農業高校として役割を模索し、地域社会の発展に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 志を明確にして達成する学力を身に付けます。
- 農業の体系的・系統的な理解及び関連する技術を育成します。
- 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。
- 職業人としての規範意識や倫理観が身に付いた人材を育成します。

<豊かな心>命を大切にする, 協調の心, 健全な人間関係, 地域への貢献
<確かな学力>基礎基本の定着, 健康の保持増進, コミュニケーション能力の向上
<専門教育の充実>自律的な能力と態度, 官民と連携した学習

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通教科と農業教科などの学習を通して豊かな人格の形成と生きる力の育成を図り, 将来, 地域社会を担う有為な社会人の育成を目指します。
- 教科等横断的な学びや地域社会と協働した学びにより, 探究的な学びを進めます。
→探究的な学びから地域の資源を発見・活用する策を模索します。
- ICTを活用したスマート農業や農場 HACCP の取り組みによる学びを実現します。
→GPS を活用した自動運転技術等による作物生産や, 安心・安全な畜産物生産に関する学習を実施すると共に, 農業生産者としての責任感を身に付けます。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 志望動機が明確であり, 意欲的に農業学習・学校生活に取り組む生徒。
- 基本的な生活習慣が身に付いており, 豊かな人間性を磨くために努力し, 互いにコミュニケーション能力を高められる生徒。
- 本校の目標である校訓「自啓」を理解し, 進路実現に向かって継続的に努力できる生徒。
- 中学校3年間続けてきたスポーツ的活動, 文化的活動を高校入学後も継続して活動する意欲のある生徒。
- 農作物の栽培または家畜の飼育及び農業経営に関する学習に強い興味・関心があり, 将来の農業の担い手・地域の担い手や農業関係等への進学・就職を目指している生徒。

宮城県農業高等学校 [全日制課程 (園芸科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県農業高等学校は、「自啓 (自らの力で自らの道をひらく)」を校訓とし、3年間の教育を通して、自然を愛し、心身ともに健康でたくましい人材を育成します。また、宮城県の農業教育の中核を担う学校として、農業のキャリア教育を推進するとともに、都市近郊の農業高校として役割を模索し、地域社会の発展に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 志を明確にして達成する学力を身に付けます。
- 園芸の体系的・系統的な理解及び関連する技術を育成します。
- 園芸の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。
- 職業人としての規範意識や倫理観が身に付いた人材を育成します。

<豊かな心>命を大切にする, 協調の心, 健全な人間関係, 地域への貢献
<確かな学力>基礎基本の定着, 健康の保持増進, コミュニケーション能力の向上
<専門教育の充実>自律的な能力と態度, 官民と連携した学習

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通教科と農業教科などの学習を通して豊かな人格の形成と生きる力の育成を図り, 将来, 地域社会を担う有為な社会人の育成を目指します。
- 教科等横断的な学びや地域社会と協働した学びにより, 探究的な学びを進めます。
→探究的な学びから地域の資源を発見・活用する策を模索します。
- 都市型近郊農業の立地を生かし, 最先端の技術を含めた園芸に関する深い専門性を持つ地域社会のリーダーを育てます。
→地域社会に根ざす安心・安全な農産物生産を行うための認証制度 (GAP 等) のしくみを学び, バイオ技術を含む最先端の園芸技術や地域資源の有効利用・開発のための企業連携実習を行い, 社会に求められる人材を育成します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 志望動機が明確であり, 意欲的に農業学習・学校生活に取り組む生徒。
- 基本的な生活習慣が身に付いており, 豊かな人間性を磨くために努力し, 互いにコミュニケーション能力を高められる生徒。
- 本校の目標である校訓「自啓」を理解し, 進路実現に向かって継続的に努力できる生徒。
- 中学校3年間続けてきたスポーツ的活動, 文化的活動を高校入学後も継続して活動する意欲のある生徒。
- 農作物の栽培または家畜の飼育及び農業経営に関する学習に強い興味・関心があり, 将来の農業の担い手・地域の担い手や農業関係等への進学・就職を目指している生徒。

学校名	宮城県農業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	農業科・園芸科	募集定員	120人

第一次募集 (選抜方法等)	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	農業機械科、食品化学科、生活科		
	共通選抜			
	募集人数	96人 (募集定員の 80%)		
	学力検査:調査書	5 : 5		
	学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。			
	特色選抜			
	募集人数	24人 (募集定員の 20%)		
	配点	1 調査書	195点	合計 670 点
		国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
2 学力検査		250点		
国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を0.5倍にする				
3 面接	225点			
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する24人の150%の範囲に含まれる者(36人)を対象として行う。 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、総合的に審査し、選抜する。 			
面接・実技・作文のうち実施するもの	面接	1 形態:個人面接 2 時間:15分程度 3 内容:(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)学習への興味関心 (4)農業学習への心構え (5)将来の希望進路 (6)その他 4 観点:(1)意欲・関心・態度 90点 (2)責任感・規範意識 45点 (3)協調性・適応性 45点 (4)表現力・理解力 45点		
	※2日目に実施			

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集 (選抜方法等)	配点	1 調査書	225点	合計 750 点
		国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
		2 学力検査	300点	
	国語、数学、英語 : 各教科100点満点			
	3 面接	225点		
1 形態:個人面接 2 時間:15分程度 3 内容:第一次募集と同じ 4 観点:第一次募集と同じ				
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。			

宮城県農業高等学校 [全日制課程 (農業機械科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県農業高等学校は、「自啓 (自らの力で自らの道をひらく)」を校訓とし、3年間の教育を通して、自然を愛し、心身ともに健康でたくましい人材を育成します。また、宮城県の農業教育の中核を担う学校として、農業のキャリア教育を推進するとともに、都市近郊の農業高校として役割を模索し、地域社会の発展に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 志を明確にして達成する学力を身に付けます。
- 農業機械の体系的・系統的な理解及び関連する技術を育成します。
- 農業機械の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。
- 職業人としての規範意識や倫理観が身に付いた人材を育成します。

<豊かな心>命を大切にする, 協調の心, 健全な人間関係, 地域への貢献

<確かな学力>基礎基本の定着, 健康の保持増進, コミュニケーション能力の向上

<専門教育の充実>自律的な能力と態度, 官民と連携した学習

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通教科と農業教科・工業教科などの学習を通して豊かな人格の形成と生きる力の育成を図り, 将来, 地域社会を担う有為な社会人の育成を目指します。
- 教科等横断的な学びや地域社会と協働した学びにより, 探究的な学びを進めます。
→探究的な学びから地域の資源を発見・活用する策を模索します。
- ものづくりに必要な基礎知識や技術を「5 S (整理・整頓・清潔・清掃・躰)」のきめ細やかな指導が整った授業環境から体得し, 責任感の強い, 社会に有為な人材を育成します。
→農業機械・工作機械を使用した専門的な実習や多くの資格取得指導の中から, 農業機械分野における「実践力」を身に付けます。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 志望動機が明確であり, 意欲的に農業学習・学校生活に取り組む生徒。
- 基本的な生活習慣が身に付いており豊かな人間性を磨くために努力し, 互いにコミュニケーション能力を高められる生徒。
- 本校の目標である校訓「自啓」を理解し, 進路実現に向かって継続的に努力できる生徒。
- 中学校3年間続けてきたスポーツ的活動, 文化的活動を高校入学後も継続して活動する意欲のある生徒。
- 農作物の栽培または家畜の飼育及び農業経営に関する学習に強い興味・関心があり, 将来の農業の担い手や農業関係等への進学・就職を目指している生徒。

学校名	宮城県農業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	農業機械科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	農業科・園芸科、食品化学科、生活科		
	共通選抜			
	募集人数	32人（募集定員の 80 %）		
	学力検査:調査書	5 : 5		
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。			
	特色選抜			
	募集人数	8人（募集定員の 20 %）		
	配点	1 調査書	195点	合計 670 点
		国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
2 学力検査		250点		
国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を0.5倍にする				
3 面接	225点			
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する8人の150%の範囲に含まれる者（12人）を対象として行う。 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 			
面接・実技・作文のうち実施するもの	面接	1 形態：個人面接 2 時間：15分程度 3 内容：(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)学習への興味関心 (4)農業学習への心構え (5)将来の希望進路 (6)その他 4 観点：(1)意欲・関心・態度 90点 (2)責任感・規範意識 45点 (3)協調性・適応性 45点 (4)表現力・理解力 45点		
	※2日目に実施			

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書	225点	合計 750 点
		国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
		2 学力検査	300点	
	国語、数学、英語 : 各教科100点満点			
	3 面接	225点		
1 形態：個人面接 2 時間：15分程度 3 内容：第一次募集と同じ 4 観点：第一次募集と同じ				
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。			

宮城県農業高等学校 [全日制課程 (食品化学科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県農業高等学校は、「自啓 (自らの力で自らの道をひらく)」を校訓とし、3年間の教育を通して、自然を愛し、心身ともに健康でたくましい人材を育成します。また、宮城県の農業教育の中核を担う学校として、農業のキャリア教育を推進するとともに、都市近郊の農業高校として役割を模索し、地域社会の発展に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 志を明確にして達成する学力を身に付けます。
- 食品の特性や加工の体系的・系統的な理解及び関連する技術を育成します。
- 食品の特性や加工についての振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。
- 職業人としての規範意識や倫理観が身に付いた人材を育成します。

<豊かな心>命を大切にする, 協調の心, 健全な人間関係, 地域への貢献
<確かな学力>基礎基本の定着, 健康の保持増進, コミュニケーション能力の向上
<専門教育の充実>自律的な能力と態度, 官民と連携した学習

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通教科と農業教科などの学習を通して豊かな人格の形成と生きる力の育成を図り, 将来, 地域社会を担う有為な社会人の育成を目指します。
- 教科等横断的な学びや地域社会と協働した学びにより, 探究的な学びを進めます。
→探究的な学びから地域の資源を発見・活用する策を模索します。
- 食品に強い関心を持ち主体的に学習・実習に取り組む事で, 社会に必要とされる人材の育成を目指します。
→安全・安心な食品を製造するために食品製造実習で「責任感」を体得します。
グループ学習を実施し, きめ細やかな指導を実験で行います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 志望動機が明確であり, 意欲的に農業学習・学校生活に取り組む生徒。
- 基本的な生活習慣が身に付いており豊かな人間性を磨くために努力し, 互いにコミュニケーション能力を高められる生徒。
- 本校の目標である校訓「自啓」を理解し, 進路実現に向かって継続的に努力できる生徒。
- 中学校3年間続けてきたスポーツ的活動, 文化的活動を高校入学後も継続して活動する意欲のある生徒。
- 食品の特性や加工の原理に関する学習に強い興味・関心があり, 将来の農業の担い手・地域の担い手や食品関係等への進学・就職を目指している生徒。

学校名	宮城県農業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	食品化学科	募集定員	40人

第一次募集 (選抜方法等)	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	農業科・園芸科、農業機械科、生活科		
	共通選抜			
	募集人数	32人 (募集定員の 80%)		
	学力検査:調査書	5 : 5		
	学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。			
	特色選抜			
	募集人数	8人 (募集定員の 20%)		
	配点	1 調査書	195点	合計 670 点
		国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
2 学力検査		250点		
国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を0.5倍にする				
3 面接	225点			
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する8人の150%の範囲に含まれる者(12人)を対象として行う。 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、総合的に審査し、選抜する。 			
面接・実技・作文のうち実施するもの	面接	1 形態: 個人面接 2 時間: 15分程度 3 内容: (1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)学習への興味関心 (4)農業学習への心構え (5)将来の希望進路 (6)その他 4 観点: (1)意欲・関心・態度 90点 (2)責任感・規範意識 45点 (3)協調性・適応性 45点 (4)表現力・理解力 45点 ※2日目に実施		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集 (選抜方法等)	配点	1 調査書	225点	合計 750 点
		国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
		2 学力検査	300点	
	国語、数学、英語 : 各教科100点満点			
	3 面接	225点		
1 形態: 個人面接 2 時間: 15分程度 3 内容: 第一次募集と同じ 4 観点: 第一次募集と同じ				
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。			

宮城県農業高等学校 [全日制課程 (生活科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県農業高等学校は、「自啓 (自らの力で自らの道をひらく)」を校訓とし、3年間の教育を通して、自然を愛し、心身ともに健康でたくましい人材を育成します。また、宮城県の農業教育の中核を担う学校として、農業のキャリア教育を推進するとともに、都市近郊の農業高校として役割を模索し、地域社会の発展に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 志を明確にして達成する学力を身に付けます。
- 農業及び家庭の体系的・系統的な理解及び関連する技術を育成します。
- 農業及び家庭の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。
- 職業人としての規範意識や倫理観が身に付いた人材を育成します。

<豊かな心>命を大切にする, 協調の心, 健全な人間関係, 地域への貢献
<確かな学力>基礎基本の定着, 健康の保持増進, コミュニケーション能力の向上
<専門教育の充実>自律的な能力と態度, 官民と連携した学習

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通教科と農業教科・家庭教科などの学習を通して豊かな人格の形成と生きる力の育成を図り, 将来, 地域社会を担う有為な社会人の育成を目指します。
- 教科等横断的な学びや地域社会と協働した学びにより, 探究的な学びを進めます。
→探究的な学びから地域の資源を発見・活用する策を模索します。
- 人とのふれあいや福祉・保育・調理の実習を通して心豊かな社会生活を営む能力を育て, 教養豊かで有能な人材を育てます。
→福祉・保育・調理の資質と能力を高めるため, 資格取得や企業と連携した授業, 幼稚園児との交流授業を行います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 志望動機が明確であり, 意欲的に農業学習・家庭科の学習・学校生活に取り組む生徒。
- 基本的な生活習慣が身に付いており豊かな人間性を磨くために努力し, 互いにコミュニケーション能力を高められる生徒。
- 本校の目標である校訓「自啓」を理解し, 進路実現に向かって継続的に努力できる生徒。
- 中学校3年間続けてきたスポーツ的活動, 文化的活動を高校入学後も継続して活動する意欲のある生徒。
- 農業及び家庭科目に関する学習に強い興味・関心があり, 生活科の学習を通して学んだ事を将来の進路 (進学・就職) へつなげることができる生徒。

学校名	宮城県農業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	生活科	募集定員	40人

第一次募集 (選抜方法等)	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	農業科・園芸科、農業機械科、食品化学科		
	共通選抜			
	募集人数	32人 (募集定員の 80%)		
	学力検査:調査書	5 : 5		
	学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。			
	特色選抜			
	募集人数	8人 (募集定員の 20%)		
	配点	1 調査書	195点	合計 670 点
		国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
2 学力検査		250点		
国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を0.5倍にする				
3 面接	225点			
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する8人の150%の範囲に含まれる者(12人)を対象として行う。 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、総合的に審査し、選抜する。 			
面接・実技・作文のうち実施するもの	面接	1 形態: 個人面接 2 時間: 15分程度 3 内容: (1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)学習への興味関心 (4)農業学習への心構え (5)将来の希望進路 (6)その他 4 観点: (1)意欲・関心・態度 90点 (2)責任感・規範意識 45点 (3)協調性・適応性 45点 (4)表現力・理解力 45点		
	※2日目に実施			

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集 (選抜方法等)	配点	1 調査書	225点	合計 750 点
		国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
		2 学力検査	300点	
	国語、数学、英語 : 各教科100点満点			
	3 面接	225点		
1 形態: 個人面接 2 時間: 15分程度 3 内容: 第一次募集と同じ 4 観点: 第一次募集と同じ				
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。			